

桜工

2010

理工学部校友会創立60周年記念号



目 次

巻 頭 言	
仕事は理系？文系？「木方 真理子」	2
理工学部校友会60周年記念号	
校友会創立60周年にあたって「馬場 邦明」	3
特集：「今後の理工学部に望むもの」	4
今後の理工学部に望むもの「伊澤 閑」	
コミュニケーション「秋山 稔」	
夢を実現に「野々下 力」	
自信と活力ある学生に育てる学科共通の教育機会を「村松 俊夫」	
継続は力なり！「高野 義教」	
自由な学舎たれ「並木 雅俊」	
確かな未来のために「五十嵐 正夫」	
理工学部生誕90周年に向けて「川口 芳夫」	
明日の技術立国のために「小倉 正二」	
創造力を磨け「和田 直巳」	
将来のための社会貢献ができる人材作りとサポート「森岡 日出男」	
電子情報工学科への今後の期待「田中 茂」	
理工学部・校友会NEWS	12
日本大学大学院理工学研究科 学生募集情報／	
再び学ぼうー社会人に開かれた大学／	
理工学部校友会共催 理工学研究所講演をキックオフ！／	
理工学部への教育支援を行っています／	
平成21年度理工学部校友会奨学生証書授与式／	
日本大学理工学部校友会会員就職支援サイトがスタートします	
各部会講演会活動報告	
入試・就職	16
学会・協会賞受賞者ー研究の楽しさー	19
菅原 政一／横村 隆子／中島 啓之／高橋 芳浩	
桜工ーこれまでの表紙をふりかえってー	21
学術賞および学会・協会賞受賞者	25
部会だより	27
土木・建築・機械・電気・工化・交通・精密・物理・数学・海建・航空・電子	
支部一覧	33
クラス会だより／	
支部だより／	
事務局だより（事務報告・収支報告等・会費納入者名簿）	
平成21年度第二十一回「桜工賞」受賞予定者表	42
理工学研究施設の紹介	

理工学部研究施設の紹介



科学技術史料センター (CST MUSEUM)

学部内外に所在する理工学部関係者がかかわる史料の収集・継承し、本学部の歴史と文化を目に見える形で継承・発展させることを目的に発足しました。

実物や模型などの「もの」の収集・展示と、文献・史料などのアーカイブズという二つの機能があり、教職員や学生のみならず一般の方も利用できます。今後、さまざまな研究・調査の場としても対応できるよう、さらなる充実を図ります。

基本測量、実習の学問を主体にした、測量に関連した理工学部、短期大学の共通利用施設です。測量関連の正規授業と測量実習、学部卒業研究などに利用されています。センターの中には、測量機器の歴史コーナーの展示棚が設置されています。このコーナーは昭和30年代から現在も使用されている測量機器の展示であり、わが国の研究機関のなかでも自慢できる展示コーナーです。また、汎用画像処理コンピュータによって、LANDSAT衛星や高分解能衛星リモートセンシングによる環境調査や土地被覆の解析研究が行われています。そのほかにも、最新のGPS測量装置(GNSS(GPS/GLONASS)受信機)によって種々の調査研究や現地調査が行われています。

測量実習センター



空気力学実験センター風洞実験部



大型低速風洞



三次元煙風洞

最大風速50m/sの大型低速風洞と三次元煙風洞装置を設置し、流体力学の基礎研究、航空機や車両の空力特性、建築構造物に働く環境風に関する研究などが行われています。本風洞は、1971年に故木村秀政日本大学名誉教授を中心とした風洞計画委員会によって計画・設計が行われ、1975年5月に完成しました。低速風洞は、乱流境界層や伴流といった流体力学の基礎研究、航空機や車両の空力的特性、建築構造物に働く風力、そして疑似自然風の中におかれた建築模型の環境風に関する問題など、航空関係およびそれ以外の広い範囲にわたる研究を行うために設置されました。三次元煙風洞は、物体のまわりの流れを知るために煙による可視化を行っています。施設は学内の教員、大学院生および学部生の研究のみならず学外からの受託研究にも使用されています。

情報教育研究センターでは、研究活動や学生生活をより充実させるため、様々な設備/サービスを提供しています。

大学でのIT利用の中心が、インフラストラクチャーの整備拡大から、大学における教育での活用に変化しつつあります。つまり、IT利用の重点が従来の情報教育から「教育の情報化」を通じた教育改革に変わりつつあります。「教育の情報化」は、学生の学力の多様性に対応する手段の一つとしてITを道具として活用し、その結果として教育の原点である対面教育の充実を図るものです。

情報教育研究センターは、理工学部の各学科・部署を横断的に結ぶ横糸としての役割を果たしながら、道具としてのIT技術の活用による「教育支援サービスを中心」とした学生・教職員へのサービス充実を図ることにより、理工学部の教育改革を実現することを目指しています。

情報教育研究センター



日本大学は我が国最大の総合大学としての地位を築いています。中でも理工学部は、学科数・学生数・教職員数ともトップクラスの規模を誇り、九十年もの間、二十万人を超えるエンジニアが学び、巣立ち、日本の科学技術の発展に大きく貢献してきました。

日本大学理工学部は二〇二〇年に
創設九十周年を迎えます。



90周年記念 ホームカミングデーを開催

日時：平成22年10月2日（土）
13時～17時

場所：駿河台校舎1号館

内容：記念講演
理工学部の現況と将来展望
各学科の現況紹介
懇親会

参加方法は、各学科・部会に
お問い合わせください。

90周年記念 第3回 理工学研究所講演会を開催

日時：平成22年4月24日（土）
14時～15時30分

場所：駿河台校舎1号館CSTホール

講演者：ノーベル物理学賞受賞者
益川 敏英 博士

テーマ：「現代科学と社会」

参加方法は、理工学部ホームページ
(<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

“理工学部・理工学部校友会共催”

平成22年度通常総会開催予定

日時：平成22年6月18日(金)

会場：東京ガーデンパレス

編集後記

今年は、理工学部校友会創立60周年に当たります。理工学部校友会も還暦を迎えたことになります。そこで今月号は、校友会誌・桜工の60周年を振り返り、そして、次への歩みのために記念号として編集しました。

中程のカラーページに、桜工の顔である表紙の変遷を取り上げました。同一年内に複数の桜工を発刊した年もあったため、桜工の発行No.と校友会の創立からの年数が異なっています。こうして並べてみると、時代を反映した趣深い顔も見受けられ、歴史の重みを感じるのは編集子だけの感慨でしょうか？皆様の思いは如何でしょうか？

さらに、校友会の次の歩みに切っても切れない理工学の今後の発展についての思いを、還暦を意識して、60歳前後の校友の皆様にご寄稿して頂きました。また、桜工に対して寄せられた皆様の声を各ページの下に記させていただきました。ご寄稿、ご連絡を頂いた皆様には厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、今月号では女性校友のご活躍をご紹介しますべく、ご寄稿を戴いたことも付記させていただきます。

会誌委員 ◎委員長 ○副委員長

◎関口 優紀 ○岩井 茂雄 ○山崎 栄介 雨 森司 瑞 利 伊藤 公夫 松本 彰
伊澤 真 角 耀 秋久 俊博 仲 滋文 志方 洋一 下川 澄雄
高橋 啓輔 居駒 知樹 安倍 明雄 高橋 芳浩

●住所表示・勤務先・TEL番号等の変更は事務局までご連絡下さい。

●クラス会等に“桜工”をお送りします。(実費・送料が必要となります)

●クラス会の様子を桜工「クラス会だより」掲載希望の場合は、会合名・卒年・学科・開催日時・場所・参加人数等をお知らせ下さい。

※各詳細・問い合わせ等は理工学部事務局までご連絡下さい。

〒101-8308

東京都千代田区神田駿河台1-8-14

日本大学理工学部内 5号館2階525号室

日本大学理工学部校友会事務局

TEL: 03-3259-0650

FAX: 03-3293-1370 (江口・田中)

ホームページアドレス

<http://www.koyukai-cst-nu.jp/>

メールアドレス

alumni@koyukai-cst-nu.jp

平成22年3月25日発行

日本大学理工学部校友会

(日本大学工科校友会)



編集・発行者 関口 優紀

〒101-8308

東京都千代田区神田駿河台1-8-14

電話 03-3259-0650

FAX 03-3293-1370

印刷所 株式会社トーコー印刷